

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2257	課コード	0506	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 障害者福祉センター事業 個別事業 自立訓練（生活訓練）事業	実施計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	②部課名	健康福祉部・障害者福祉センター						
	③事業主体	●市 <input type="checkbox"/> その他（ ）	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市								
	⑤事業期間	令和2年度～		⑥担当職員数	5人（換算人数） 0.79人							
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	8,061千円（うち人件費 6,873千円）		（変更後）	千円（うち人件費 千円）		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33303	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	部門別計画への位置づけ	（計画名）		
(2) 目的	施策目的・展開方向	あらか国と障害者福祉センターでは、一人ひとりのニーズにあった施設サービスを提供するため、支援内容の充実を図ります。また、基幹施設として、市内の障害者施設への技術的支援を行うとともに、保健、医療、福祉の各機関との連携を強化します。					事業目的	日常生活能力の向上に必要な訓練を実施し、社会参加を促進するための支援を行います。				
(3) 事業内容	内容	障害のある人の日常生活や社会参加の促進するため、障害のある人が地域生活を営むことができよう、生活能力の向上を目標とした訓練を一定期間実施します。					当該年度執行計画	障害者福祉センターで、自立訓練（生活訓練）を週3回（月曜、火曜、木曜）実施します。				
		当該年度活動結果指標	自立訓練（生活訓練）契約者数	単位	名	想定値	3	実績値				
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）					指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	利用者の社会生活への移行					直接	利用者のうち社会生活へ移行した人数		名	0	1	
令和3年度	利用者の社会生活への移行					直接	利用者のうち社会生活へ移行した人数		名		3	
令和4年度	利用者の社会生活への移行					直接	利用者のうち社会生活へ移行した人数		名		3	
(7) 事業実施上の課題と対応	新規事業であるため、今後安定的な利用者の確保が必要である。そのために、相談支援事業所を始めとする他機関との連携を今まで以上に密に実施していく。					代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
(8) 施行事項	実施内容費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
予算(決算)額		合計		0		合計		1,188		合計		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	0	
	一般財源			0			△356			0	△356	
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		1,544	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		1,544	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	1,544	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0		0.79		0.79		0.79				
	正職員人件費	0		6,873		6,873		6,873				
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0				
	臨時職員賃金額	0		0		0		0				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	0		8,061		8,061		8,061					
(11) 単位費用（事業費/活動結果指標）	0千円/名		2,687千円/名									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)												
評価項目	事前評価					事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））					改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	障害者が住み慣れた地域で安心して暮らし、活発に社会参加していくことが出来るような支援体制が必要である。自立訓練（生活訓練）では、障害者が社会の中で活用できる諸サービスを自ら活用して社会参加し、自らの人生を主体的に生きていくための社会生活力を高めることに特化した訓練である。市内では自立訓練（生活訓練）を実施している施設はない。					○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>			○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>			○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容			実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）			参加・協働の程度・内容			○要 ○不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 現段階では市民との協働は考えていないが、今後運営方法によってはボランティア団体等との連携が可能がある。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容			実施した具体的な内容			環境への配慮			○要 ○不要
	環境に配慮して事業を進めているか？		<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>			
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(名)	目標値(b)(名)	目標値の妥当性のチェック			達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成			○要 ○不要	
	0	1	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である			実績値(f)(名)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>				
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過				
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	○①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託 ○⑤PFI等民間資本の活用 ■⑥受益者負担 ■⑦その他			実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>				
	事業費削減率(%)		<削減の内容> 人員については現行体制内で行えるよう工夫をする。			<超過理由等>						
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			○要 ○不要	
	0.01	単位 費用単位 名 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>				

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				